



## 今回は、中学校・授業アシスタントの実践報告、第二弾です。

日 時：2018年9月27・28日(木)(金) 参加者：1・2年生希望者42名

ご協力いただいた学校と参加人数：

緑ヶ丘4名、旭ヶ丘6名、桜ヶ丘3名、小金田9名、下有知3名、武芸川1名、板取川1名、津保川4名(以上関市)、美濃2名、昭和2名(以上美濃市) 美濃加茂東1名、坂祝3名、川辺1名(以上可茂地区)、藍川東1名、三輪1名(岐阜市)

### ◇ 母校を訪問し、後輩のみなさんと交流！

1・2年生希望者42名が母校を訪問し、授業アシスタントにチャレンジしました。後輩のみなさんや先生方と有意義な時間を過ごしました。

「ひとりでも教員志望者を増やしたい」。本校学校長の提案に、中学の先生方が快く応じてくださいました。今回で2回目を迎えるプロジェクトです。「将来、先生になりたい」「人とコミュニケーションをとることが好き」「母校の先生や後輩たちに会いたい」「楽しそうだから行ってみたい」。参加した生徒のモチベーションは様々ですが、母校でのふれあいに満足したようです。

参加者からは、「人とふれあう仕事はやっぱり楽しい」「先生の大変さがわかったし、やりがいを感じた」「努力する中学生の姿がすがすがしかった」などといった様々な感想が寄せられました。中学校の後輩のみなさん、先生方、ありがとうございました。

**授業アシスタント第三弾は、11月27日です。またおじゃまいたします！**

### ◇ SDGs 住みよいまちづくりのために、質の高い公教育を。



関高 SGH 課題研究では、国連の SDGs を基準にし、テーマを設定を行っています。Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の 17 の目標の中には、質の高い公教育の充実や、持続可能なまちづくりも掲げられています。

### ◇ 参加した生徒の感想

今回、自分が体験してみて感じたことや思ったことがいくつかあります。

まず、生徒と教師の明らかな立場の違いです。自分は半年前までは中学校で生徒として授業を受けていました。しかし今回、先生という立場に立って仕事をしてみると、見える景色がまったく違いました。生徒は50分間座って授業を受けているだけだけど、先生は一人ひとりに気を配りながら、“立って”授業をしなければなりません。わかっていたようでも、実際にやってみると厳しさが体感できました。

さらに、生徒との関わり方も少し考えるところがありました。生徒同士では特に何も考えずに接することができますが、先生と生徒では立場が違うので、言葉遣いや態度など、少し自分を見

つめ直すことができました。

次に、先生同士の職員室内での会話です。ふだん生徒として職員室に出入りする時間はとても短く、先生同士の会話を聞くことなどあまりなかったのですが、今回先生として職員室に長く滞在してみて、とても面白く楽しい雰囲気の仕事をしているのだとわかり、教師という仕事に対して強い関心が持てました。

また、生徒が知らない裏方？の仕事も体験させていただき、「ああ、こんな仕事もあるのか」と、少し意外だなと思いつつもやはり大変なんだなと思いました。

今回学んだことを生かして将来に向けて自分の進路をしっかりと考えていきたいと思いました。

